01　設備台帳

令和 7 年 7 月 17 日報告は過去履歴として引用するが、現在の健全性や部品供給を保証しない。初回点検で現況を再確認する。

項目	現行情報	現況確認
設置場所	イベントホール 2 階	
機関	クボタ LH50CS／240PS・176.5kW／1986 年製	
回転数	1,800min-1	
発電機	西芝電機 NTAKL-DEIC／200kVA・220V／1986 年 5 月製	
発電機参考	80%力率、4 極、525A	
蓄電池	過去：HS-200E、200Ah・24V、2015 年 6 月製	
充電装置	現況型式・容量を確認	
燃料設備	タンク容量、残量、満量基準、補給担当を確認	
冷却・排気	方式、配管、消音、換気を確認	
制御・保護	始動、停止、警報、切替、消防連動を確認	

02 標準点検・測定項目

区分	内容	結果・測定値・判定
機関・付属	据付、燃料・潤滑・冷却、吸排気、始動、制御、漏れ・緩み	
発電機・盤	外観、取付、接続、絶縁、計器、保護、操作・制御	
蓄電池・充電	セル電圧・比重・液面・液温、総合電圧、充電電圧・電流	
運転	始動・停止シーケンス、回転数、油圧、水温、異音・振動、排気	
発電	電圧、電流、周波数、相間、力率等の適用測定	
安全・周辺	換気、排気、漏油、火気、騒音、警報、立入防止	
記録	測定器・有効期限、写真、判定、所見、未是正	

03　運転性能確認管理表

運転性能の確認方法は負荷運転又は内部観察等とする。予防的な保全策は点検方法そのものではなく、所定の条件を満たす場合の実施周期延長の条件として管理する。周期延長の適用は前回実施日と保全履歴で確認し、根拠不明のまま適用しない。運転性能の確認周期は原則 1 年に 1 回、所定の予防的保全策を講じる場合は 6 年に 1 回とする。

通常の点検・状態確認は定額。交換、負荷試験装置、仮設、専門分析、分解、通常量を超える追加燃料等は、定額に含むと明示したものを除き事前見積り・承認後の別途費用とする。費用区分を理由に必要な点検を未実施のままにしない。

項目	記入・確認
前回方法・実施日	□負荷運転　□内部観察等　□その他　／年月日：
今回方法・根拠	□負荷運転　□内部観察等 採用理由・適用基準：
次回期限・判定根拠	年月日：　　前回実施日：　　適用周期：
停電・切替	□不要　□必要　影響範囲・時間：
仮設負荷・配線・専門分析等	必要性、数量、費用区分、見積額、承認日：
燃料消費・補給	通常消費量、追加燃料量、満量補給の要否、費用区分：
排気・騒音・安全	
実施 04・実施 17 調整	
結果・是正	結果、判定、是正内容、復旧確認、未是正事項：
予防的保全策の適用可否・根拠資料	□適用 □不適用 □履行時確認 前回実施日・保全履歴・根拠資料・確認者：

04　交換・修理・費用区分

負荷運転又は内部観察等の実施が必要な年度は、方法・実施範囲・定額部分・別途部分を事前に整理する。専門作業等の費用区分は本表による。

項目	定額	別途	条件
年 1 回総合点検・通常測定・無負荷試運転	○	－	標準点検
軽微調整・増締め・清掃	○	－	点検付随
潤滑油・V ベルト・フィルター	－	○	通常の状態確認は定額。交換は推奨交換期限、交換履歴及び状態を示し、事前見積り・承認後に実施。ただし、仕様書又は補足資料で定額に含むと明示したものを除く。
冷却水・専門的系統清掃	－	○	通常の状態確認は定額。交換、専門清掃又は処理は事前見積り・承認後に実施。
蓄電池交換	－	○	型式・寿命・測定結果
負荷運転又は内部観察等に必要な資機材・専門作業	－	○	負荷試験装置、仮設配線、追加燃料、専門分析、分解等。方法・数量・必要性・見積額を提示し承認後に実施。通常の確認・記録との区分を明示する。
点検運転の通常燃料消費	○	－	年次総合点検及び通常の無負荷試運転に伴う通常消費分
満量補給・燃料入替・処分	－	○	満量管理のための補給、通常量を超える追加燃料、燃料入替・処分。数量・品質確認及び事前承認。
部品交換・分解整備	－	○	部品供給、必要性、数量及び見積額を確認し、事前承認後に実施。
受託者の点検不備による復旧	受託者負担	－	原因確認

05 責任分界

年 1 回の総合点検に加え、消防設備側の機器点検との担当・実施時期・記録の受渡しを調整し、点検の漏れと重複を防止する。

関連業務	担当
統括 04 設備運転監視	日常確認、燃料・警報、通報、定例運転がある場合の記録
実施 04 受変電設備	商用電源・受変電側、切替の電源側、停電調整
実施 16 本業務	発電機・機関・制御・蓄電池の専門点検、測定、運転性能確認
実施 17 防災設備	消防設備点検・法定報告全体、非常電源点検資料の取りまとめ

06　報告書必須項目

本仕様書と本補足資料を一体として適用し、設備、総合点検、運転性能確認、費用、統括 04・実施 04・実施 17 との分担及び報告事項を特定する。

区分	項目
設備・資格	設備情報、点検者・資格、日時、立会、測定器
点検・測定	項目別結果、測定値、試運転・シーケンス、判定
燃料・消耗品	残量・状態・消費・補給、油・ベルト等の交換
不具合・修理	現象、危険、応急、修理、部品供給、概算、期限
運転性能	方法、根拠、前回・今回・次回、負荷・停電条件
更新リスク	販売終了・代替、修繕履歴、更新提案
写真・引継ぎ	点検・処置前後、未是正、次回事項

07　構成部品別予防保全履歴

対象機器、構成部品又は対象項目ごとに本票を複写して使用する。

項目	記入欄
部品名・識別番号	
予防的保全策 適用可否・理由	
推奨交換期限	
直近交換日	
次回期限	
根拠資料 メーカー資料等	
状態・交換計画・承認	

08　負荷運転測定記録

測定条件・測定時刻を併記し、必要に応じて時系列測定記録を添付する。

項目	記入欄
実施日・実施者・測定器	
負荷率 %	
継続時間 分	
線間電圧 V R-S／S-T／T-R	
各相電流 A R／S／T	
周波数 Hz	
油圧 単位併記	
水温 ℃	
排気色	
異音・振動	
終了後の復旧確認 時刻・状態・確認者	
判定・是正・添付資料	

09　内部観察等実施記録

対象項目は、①過給器コンプレッサ翼・タービン翼・排気管等の内部観察、②燃料噴射弁等の動作確認、③シリンダ摺動面の内部観察、④潤滑油の成分分析、⑤冷却水の成分分析。項目ごとに本票を複写する。装備のない部位等は非該当理由を記録する。

項目	記入欄
対象項目番号 1〜5・名称	
実施日・実施者	
方法	
分析機関 該当しない場合は理由	
判定値・単位・判定基準	
写真番号	
分析結果 添付番号	
判定・是正事項	